

年度	大会名	奨励賞	受賞者名	所属	題目	備考
2000年度	第112回大会	第1回	永井 聖剛	関西学院大学大学院文学研究科	Flash Lag現象における下方効果	風井浩志・八木昭宏との共同研究
2000年度	第112回大会	第1回	清水 益治	大阪樟蔭女子大学学芸学部	3歳児は四角形の大きさ判断の際に高さ次元に注目できるか	
2000年度	第112回大会	第1回	篠原 一光	大阪大学大学院人間科学研究科	論理判断課題における長期記憶の制御と作動記憶の中央制御機構	
2001年度	第113回大会	第2回	森岡 陽介	同志社大学大学院文学研究科	感情喚起における脳内等価電流双極子推定	鈴木直人との共同研究
2001年度	第113回大会	第2回	杉村 伸一郎	神戸女子大学文学部	用事の空間定位における認知過程の検討	
2001年度	第113回大会	第2回	木村 貴彦	大阪大学大学院人間科学研究科日本学術振興会特別研究員DC	奥行き注意特性：判断難易度による注意資源の分布	三浦利章・土居俊一・山本有造との共同研究
2002年度	第114回大会	第3回	石松 一真	大阪大学大学院人間科学研究科	非予期事象の検出パフォーマンスに及ぼす加齢の効果	三浦利章との共同研究
2002年度	第114回大会	第3回	川田 幸司	同志社大学大学院文学研究科	アレキシサイミアにおける心臓血管反応と主観的ストレス状態の関係について	佐藤豪との共同研究
2002年度	第114回大会	第3回	隠岐 厚美	関西学院大学大学院文学研究科	失語症者にみる言語症状の言語心理学的アプローチ(1)多語言語テストの分析	服部照子との共同研究
2003年度	第115回大会	第4回	細谷 周史	同志社大学大学院文学研究科	単純反応課題が時間産出に及ぼす影響 —二重課題パラダイムを用いた検討(2)—	小川時洋・鈴木直人との共同研究
2003年度	第115回大会	第4回	小森 麻美	神戸学院大学大学院人間文化学研究科	絵図連想反応の発達的变化	
2003年度	第115回大会	第4回	竹澤 智美	立命館大学大学院文学研究科	画像上の人物に対する距離と大きさの知覚(6)：距離知覚における測定法の比較	松田隆夫との共同研究
2004年度	第116回大会	第5回	藤本 清	関西学院大学大学院文学研究科	バイオロジカル・モーションによるグローバル運動関の変調	八木昭宏との共同研究
2004年度	第116回大会	第5回	藤村 友美	同志社大学大学院文学研究科	動画による表情表出の感情評価の検討	鈴木直人との共同研究
2004年度	第116回大会	第5回	高木 悠哉	同志社大学大学院文学研究科	人間の食行動におけるセッション内変動を記述した数式の一般性	青山謙二郎との共同研究
2005年度	第117回大会	第6回	廣瀬 信之	京都大学大学院文学研究科	オブジェクト置き換えマスキングの脳内機構 —反復経頭蓋磁気刺激(γTMS)による検討—	芋阪直行との共同研究
2005年度	第117回大会	第6回	中井 宏	大阪大学大学院人間科学研究科	運転技能の自己評価と運転歴に関する調査	臼井伸之介との共同研究
2005年度	第117回大会	第6回	坪見 博之	京都大学大学院文学研究科	オブジェクトアウェアネスに影響するトップダウンの空間的注意 —fMRIを用いた脳内ネットワークの検討—	池田尊司・廣瀬信之・芋阪直行との共同研究
2006年度	第118回大会	第7回	村山 奈穂	同志社大学大学院文学研究科	ポジティブ感情が対処行動に及ぼす影響の検討	手塚陽介・鈴木直人との共同研究
2006年度	第118回大会	第7回	三木 真美	関西学院大学大学院文学研究科	対人不安とスピーチパフォーマンスについての自己評価と他者評価の相違についての研究	松見淳子との共同研究
2006年度	第118回大会	第7回	岡 耕平	大阪大学大学院人間科学研究科日本学術振興会特別研究員DC	知的障害者の手技作業巧緻性を低下させる要因： 実際作業遂行時の視覚運動協応の時系列分析より	三浦利章との共同研究
2007年度	第119回大会	第8回	植村 雅史	大阪人間科学大学大学院人間科学研究科	感情分類でみる入院中の心理状態 —新たなwell-being研究の展開—	加藤由香・山田富美雄との共同研究
2007年度	第119回大会	第8回	佐藤 鮎美	同志社大学大学院文学研究科	乳児期における母子絵本共有が母子相互作用に及ぼす効果についての縦断的検討	内山伊知郎との共同研究
2007年度	第119回大会	第8回	柴田 由己	関西大学大学院社会学研究科	経路選択傾向と性格特性との関連 —覚醒水準の個人差を測定するSSS-JA、TPDSとの関係モデルからの検討—	
2007年度	第119回大会	第8回	破田野 智己	立命館大学大学院文学部	予報の呈示方法が選択に与える影響 —言語的な予報と直接的な予報の比較—	
2007年度	第119回大会	第8回	平田 佐智子	関西学院大学大学院文学研究科	有声・無声子音がもたらすイメージへの実験的アプローチ	浮田潤との共同研究

2008年度	第120回大会	第9回	引田 伸昌	大阪大学大学院人間科学研究科	刺激の感情価がRepetition Blindnessに及ぼす影響 ー漢字を用いての検討ー	木村貴彦・篠原一光・三浦利章との共同研究
2008年度	第120回大会	第9回	駒田 悠一	大阪大学大学院人間科学研究科	模擬道路上での飛び出し検出時の注視特性と注意力の関係	篠原一光・木村貴彦・三浦利章との共同研究
2008年度	第120回大会	第9回	福住 昌美	同志社大学大学院文学研究科	高齢者が描く樹木画の特徴と認知機能の関連について ークラウン型樹冠の描画に関するー考察ー	森川将行・岡本希・車谷典男・岸本年史・佐藤豪との共同研究
2009年度	第121回大会	第10回	紀ノ定 保礼	大阪大学大学院人間科学研究科	到達把持運動における予測的制御メカニズム	杉尾武志との共同研究
2009年度	第121回大会	第10回	福田 哲也	関西学院大学大学院文学研究科	対人コミュニケーション効力感の生涯発達 ー精神的健康の諸側面に関する横断研究(1)ー	成田健一との共同発表
2009年度	第121回大会	第10回	富田 瑛智	大阪大学大学院人間科学研究科	顔再認における人種差 ー平均顔の虚再認を用いてー	森川和則との共同研究
2009年度	第121回大会	第10回	沼田 恵太郎	関西学院大学大学院文学研究科	ヒトの随伴性学習における潜在制止の実験的検討	嶋崎恒雄との共同研究
2010年度	第122回大会	第11回	西山 亮二	関西学院大学大学院文学研究科	音韻類似効果における構音過程の関与	
2010年度	第122回大会	第11回	小松 丈洋	関西学院大学大学院文学研究科	個人の情動情報処理時間と眼球運動系の関係について ーサッカー軌道湾曲を指標としてー	八木昭宏との共同研究
2010年度	第122回大会	第11回	山崎 真理子	同志社大学大学院文学研究科	食事内容の記録がその後の間食の摂取量に及ぼす効果	高木悠哉・中村瑤子・齋藤瞳・佐藤豪・青山謙二郎との共同研究
2011年度	第123回大会	第12回	瀧本 彩加	京都大学大学院文学研究科	協力はフサオマキザルのコストを伴う向社会的な報酬分配を促進するか？	藤田和生との共同研究
2011年度	第123回大会	第12回	鹿子木 康弘	京都大学大学院文学研究科	前言語期乳児における同情的態度	奥村優子・井上康之・北崎充晃・板倉昭二との共同研究
2011年度	第123回大会	第12回	平松 千尋	京都大学大学院文学研究科 日本学術振興会特別研究員PD	フサオマキザルにおける素材質感の知覚	藤田和生との共同研究
2011年度	第123回大会	第12回	箕浦 有希久	関西学院大学大学院文学研究科	2項目自尊感情尺度の妥当性の検討 ー社会調査においてセルフ・エスティームを測定するためにー	成田健一との共同研究
2012年度	第124回大会	第13回	大瀧 翔	京都大学大学院文学研究科 日本学術振興会特別研究員DC	網膜座標系に非依存のヒトと依存のハト	渡辺創太・藤田和生との共同研究
2012年度	第124回大会	第13回	奥村 優子	京都大学大学院文学研究科 日本学術振興会特別研究員DC	乳児における参照的視線の理解 ーヒトとロボットの比較からー	鹿子木康弘・板倉昭二との共同研究
2012年度	第124回大会	第13回	高岡 祥子	京都大学大学院文学研究科	イヌは観察経験に基づいてヒトへの反応を変化させるか？	藤田和生との共同研究
2013年度	第125回大会	第14回	岩崎 純衣	京都大学大学院文学研究科 日本学術振興会特別研究員DC	ヒト幼児における将来を見越した情報希求行動	黒島妃香・藤田和生との共同研究
2013年度	第125回大会	第14回	森泉 慎吾	大阪大学大学院人間科学研究科日本学術振興会特別研究員DC	リスク敢行時のベネフィットがリスク認知に及ぼす影響	臼井伸之介との共同研究
2013年度	第125回大会	第14回	幡地 祐哉	京都大学大学院文学研究科	ハトは両眼情報を統合して知覚する	大瀧翔・藤田和生との共同研究
2014年度	第126回大会	第15回	向井田 真衣	京都大学大学院文学研究科	Perceptual narrowingは領域共通か	板倉昭二との共同研究
2014年度	第126回大会	第15回	鈴木 千晴	奈良女子大学大学院人間文化研究科	ロールシャッハテストの色彩反応とGo/No-Go課題 ー色彩情動仮説の妥当性の検討ー	
2014年度	第126回大会	第15回	荒堀 みのり	京都大学大学院文学研究科	フサオマキザルは自発的に分業する	黒島妃香・藤田和生との共同研究
2014年度	第126回大会	第15回	打江 かおり	関西学院大学大学院文学研究科	写真に映し出す心理的居場所感 ー写真投影法による測定ー	成田健一との共同研究
2015年度	第127回大会	第16回	大仲 陽子	同志社大学大学院心理学研究科	3つの自己のズレと自尊感情との関連	佐藤豪との共同研究
2015年度	第127回大会	第16回	庭山 和貴	関西学院大学大学院文学研究科日本学術振興会特別研究員DC	通常学級に在籍する自閉症のある児童に対する担任教師と協働した行動的支援 ー担任教師の対象児に対する注目の増加が授業参加行動・離席行動に及ぼす効果ー	松見淳子との共同研究
2015年度	第127回大会	第16回	松尾 和弥	甲南大学大学院人文科学研究科	虐待経験者は時間をかければ表情認知の歪みを修正できる？ ー呈示時間の長さが表情の情動認知に及ぼす影響ー	福井義一・島義弘との共同研究

2015年度	第127回大会	第16回	西田 勇樹	立命館大学大学院文学研究科	遠隔連想課題における潜在的手がかりと認知抑制	織田涼・服部雅史との共同研究
2015年度	第127回大会	第16回	赤松 大輔	京都教育大学大学院教育学研究科	学習観と学習方略の相互形成サイクルモデルの検証 —大学入学後の英語学習観を規定する要因—	
2016年度	第128回大会	第17回	鏡原 崇史	広島大学大学院教育学研究科	幼児期における意図的な表情表出の発達 —表情の形態的特徴と変容—	難波修史・若松昭彦との共同研究
2016年度	第128回大会	第17回	下田 翔太	同志社大学大学院心理学研究科	部分的な手がかりからの想起における脳梁膨大部後部皮質内NMDA受容体阻害の効果	畑敏道との共同研究
2016年度	第128回大会	第17回	三好 清文	京都大学大学院文学研究科 日本学術振興会特別研究員DC	視線データによる既知感生起の空間モデリング	蘆田宏との共同研究
2016年度	第128回大会	第17回	道野 栞	関西学院大学大学院文学研究科	180度ルールに従うカメラ移動が空間記憶の正確性に及ぼす影響	佐藤暢哉との共同研究
2016年度	第128回大会	第17回	上田 竜平	京都大学大学院文学研究科	浮気欲求への抵抗：潜在的・顕在的抑制機能の認知的説明	柳澤邦昭・蘆田宏・阿部修士との共同研究
2017年度	第129回大会	第18回	武藤 拓之	大阪大学大学院人間科学研究科 日本学術振興会特別研究員DC	超高齢者における空間認知能力と運動機能の結びつき —SONIC研究における85–87歳調査から得られたretrogenesis説の証拠—	松本清明・沼田恵太郎・榎藤恭之との共同研究
2017年度	第129回大会	第18回	井上 咲菜	甲南大学大学院人文科学研究科	被虐待経験が局所・大域処理に及ぼす影響 —Navon課題を用いて—	大浦真一・松尾和弥・福井義一との共同研究
2017年度	第129回大会	第18回	福田 実奈	同志社大学大学院心理学研究科	カフェインレスコーヒーによる反応時間短縮効果は古典的条件づけによるものか？	青山謙二郎との共同研究
2018年度	第130回大会	第19回	鈴木 文子	大阪市立大学大学院文学研究科	何が教育現場における性的マイノリティをめぐる取り組みを妨げているのか	池上知子との共同研究
2018年度	第130回大会	第19回	堀田 崇	京都大学大学院文学研究科 日本学術振興会特別研究員PD	ホンソメワケベラはどのように刺激を弁別するのか？	黒島妃香・幸田正典との共同研究
2018年度	第130回大会	第19回	片岡 春奈	甲南大学大学院人文科学研究科	劣等感とシャーデンフロイデの関連 —妬みと同情を媒介変数として—	大浦真一・松尾和弥・福井義一との共同研究
2018年度	第130回大会	第19回	白井 真理子	同志社大学心理学部	悲しみのサブタイプは異なる感情概念か？ —事象関連電位を用いた検討—	菅根崇弘・鈴木直人との共同研究
2018年度	第130回大会	第19回	今井田 貴裕	甲南大学大学院人文科学研究科	看護師において共感的コーピングと首尾一貫感覚がバーンアウト症状に及ぼす影響	今井田真実・松尾和弥・福井義一との共同研究
2019年度	第131回大会	第20回	白井 理沙子	関西学院大学大学院文学研究科 日本学術振興会特別研究員DC	皮膚関連傷病のブライミングが集合体画像の評価に及ぼす影響	小川洋和との共同研究
2019年度	第131回大会	第20回	小林 穂波	関西学院大学大学院文学研究科	読み方向のブライミングが単語の並列処理を促進する	小川洋和との共同研究
2019年度	第131回大会	第20回	小林 勇輝	大阪大学大学院人間科学研究科 日本学術振興会特別研究員DC	明度知覚と形状知覚での異なる照明表象処理過程	森川和則との共同研究
2019年度	第131回大会	第20回	中村 敏	大阪市立大学文学研究科	一般化対応法則を用いたルール支配行動の分析	佐伯大輔との共同研究
2019年度	第131回大会	第20回	向野下 紋香	奈良女子大学大学院人間文化研究科	日本語二項構文の処理特性について「格助詞と語の共起の影響」	
2020年度に開催予定であった第132回大会はコロナ禍のため中止（次年度に繰り延べ）						
2021年度	第132回大会	第21回	北野 孝太	関西学院大学大学院文学研究科	平原ハタネズミにおける情動伝染の測定	佐藤暢哉との共同研究
2021年度	第132回大会	第21回	小北 純次	京都大学教育学部	批判的思考態度が心理的リアクタンスの生起に及ぼす影響	楠見孝との共同研究
2022年度	第133回大会	第22回	川上 翔太	近畿大学大学院総合文化研究科	メンタルヘルス不調者の休職・退職を躊躇する要因の検討 —パーソナリティ特性・休職/離職に対する認知特性の差異—	本岡寛子との共同研究
2022年度	第133回大会	第22回	真田 原行	日本学術振興会・関西学院大学文学部	感情刺激による注意捕捉と安静時生理指標との関係—感情価と課題負荷の効果—	片山順一との共同研究
2023年度	第134回大会	第23回	藤原 優輝	京都大学高等研究院	部活動と性別に着目した私立高校生の学校適応感	妹尾雄基との共同研究
2023年度	第134回大会	第23回	石川 萌子	大阪大学大学院人間科学研究科	戦略の使用とベダゴジカルな質問は就学前児の粘り強さを高めるのか	鹿子木康弘との共同研究